

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	令和6年2月8日(木曜日) 午後4時から午後5時まで
3	会場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	小林勉会長、宮下由紀副会長、阿部勇委員、石合茂委員、伊藤孝二委員 上野隆子委員、内堀茂委員、金田弘美委員、田中幸子委員、中沢誠委員 中山康昭委員、堀内茂一委員、柳沢裕美委員、山岸吉彦委員、山本幸恵委員 割田栄二委員
5	市側出席者	中村丸子地域自治センター長、春原丸子地域自治センター次長兼地域振興課長 小林丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長、青木丸子市民サービス課長 渡辺丸子産業観光課長、竹花産業企画担当政策幹 竹下丸子地域建設課長兼丸子地域農地整備事務所長 杉浦丸子・武石上下水道課長 坂口丸子学校給食センター所長、関丸子消防署長 久保田地域振興課長補佐兼地域政策担当係長、佐藤主査、中島主任、笹木主事 【交通政策課】横沢課長、市川課長補佐兼交通政策担当係長
6	その他出席者	【千曲バス株式会社】営業本部長 白鳥明氏、営業部 部長代理 山崎康太郎氏
7	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
8	傍聴者	0人 ・ 記者 1人
9	会議概要作成年月日	令和6年2月14日

1	開 会 (センター次長)
2	あいさつ (小林会長)
3	会議事項 (進行 小林会長)
	(1) 路線バスの減便等について (交通政策課) <span style="float: right;">【当日資料1】</span> ・資料に沿い、交通政策課及び千曲バス株式会社より路線バスの減便等について説明。
	<質疑・応答>
	(委 員) 市民のために赤字覚悟で路線バスの運営をしていることに敬意を表する。しかし、市民として減便は残念。最終便は19時半くらいになるのか。
	(千曲バス) 今までは運転手が退勤してから8時間で出勤できたが、法改正で11時間必要になる影響が大きい。遅い時間の便を減らさないと朝の便を運行できなくなり、通勤通学に多大な迷惑をおかけする。
	(委 員) 部活終わりの高校生等最終便の利用者はいる。最終便は残してほしいという願がある。
	(千曲バス) 補助金があっても路線バスは全て赤字となっている。それでも運転手不足の中で運転手の給料を上げていかないといけない。今回の決断を理解していただきたい。
	(担当課) 鹿教湯線の平日上りは4月1日以降丸子駅発19時40分が最終便となる。下りは上田駅18時47分発、丸子駅19時29分着が最終便になる。 市としても事業者と協議を重ね、最大限法律が順守できる範囲で30分の繰り下げをお願いしてきた。 また、運転手確保のため、教習所で大型バスの運転体験ができる会社説明会を3月10日に予定している。運転手確保のための取り組みを定期的に行いながら、バスに対する負担金、補助金の在り方も見直していくことを考えている。
	(委 員) 千曲バスの鹿教湯線最終便が上田駅発18時47分となると、高校生が部活後バスに乗って帰ることが不可能になる。

運転手の確保が問題だという論点だが、運転手の賃金を上げれば採用は容易になるのか、それとももっと違う構造的なものがあってなかなか採用できないのか。

(千曲バス) いくつか要因はあると思うが一つの大きな要因は賃金。若い運転手の採用についてはハローワークと情報交換を行っているが、若い人が優先するのは休日、その次が給与だと聞いた。採用が減る契機となったのは軽井沢のスキーバス転落事故。報道を受けて退職した人もいる。ほかの要因として若者の人口減少と免許取得率が落ちてきていることがある。バスの運転に必要な大型二種免許の取得が減少している。当社では免許取得費用を負担しているが、免許取得後にやはり怖いと退職する人もいる。

各社がトラックドライバーを含め、運転手の確保をしようとする中で、当社のバス事業を選んでもらうハードルが高くなっていると思う。賃金が上がれば同じバス会社でも千曲バスを選んでくれると思う。運転手の賃金を上げる企業努力はしているが、高齢者が多く退職率が高くなっているのが現状。

(委員) 運転手採用に向けた取り組みで機会を設ければ多少は増えるかもしれないが、根本的な解決にはならないと思う。市として補助金について検討したいということだが、国や県へ補助金を上げるような働きかけをして、採用しやすい環境を整備しないといけない。

(担当課) 市単独では財源が難しい。国や県にも必要な財源の確保について呼び掛けていきたい。

(委員) 上田バスは平日の減便がないが、千曲バスは平日も土日も減便されている。この違いはなぜか。

(担当課) 令和元年にも運転手不足で千曲バスでは路線廃止等の見直しをしている。その時は上田バスではまだ運転手確保できている状況だった。しかし、今回はどうしても土日の減便が必要な状況にある。また、千曲バスはさらに人材確保が難しくなっていると聞いている。

(会長) 全国的なドライバーの不足という問題を各方面で検討しているが、今すぐ状況を変えらるというのは難しい。丸子地域協議会の交通分科会でも交通政策課と連携を強化しながら良い交通になるよう提案をしていきたい。

(2) 地域振興事業基金(持ち寄り分) 充当事業の追加について(丸子地域振興課) 【資料1】  
・資料に沿い、丸子地域振興課長から、令和6年度充当事業の追加分について説明。

<質疑・応答>

(委員) 下宮農村公園の遊具改修工事は本来市が事業として行うべき事業だと私は思う。この基金が市の財政方面からいよいよ取り崩されるようなことは避けるべきだ。安易に「基金があるからいいじゃないか」ということがないようにしてほしい。本当に必要なときに必要なお金を使うならけっこうなことだと思う。

(担当課) 当初、一般財源の中でお願いしたいと要望していたがこのような形になった。財政との折衝の中でそのような意見があったと伝え、安易に使うことのないようにやっていきたい。

#### 4 その他

(1) 「りんどう橋」国登録有形文化財 登録記念講演会について (丸子地域建設課)

・記念講演会のチラシ等に沿い、丸子地域建設課より「りんどう橋」が国登録有形文化財となった経過と講演会開催について説明。

(2) 今後の協議会日程について

第11回 3月14日(木) 午後1時30分 丸子ふれあいステーション 3階 会議室

#### 5 閉会